

科目コード	N205
授業科目名	健康教育学基礎
授業科目名(英文)	Health Education (Basics)
講義室等	1102
学科	看護学科
対象学年	2年
開講学期	後学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-4、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	教務部長
授業の概要	対象の健康課題に対応するための健康教育に関する専門的知識の修得を通じて、看護学における健康教育の理念、考え方や役割について学ぶ。 その上で、健康教育の目的を理解し、職場、地域、医療機関等それぞれの施設における健康教育の位置づけや対象の行動変容を促すための効果的な健康教育のあり方、具体的な健康教育の実施方法について理解する。その結果、看護師や保健師として患者や対象者に健康教育を実施できる健康教育の知識と実施の基礎を修得する。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 健康教育の理念や考え方を理解できる。 2. 健康教育の目的を説明できる。 3. 患者や対象の特徴、ニーズに応じた効果的な健康教育の展開方法について説明できる。 4. 行動変容を促す健康行動理論および行動療法について説明できる。 5. 行動変容を促す健康教育方法について演習を通して修得できる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	定期試験(80%)、授業の取組および演習への参加の姿勢(20%)で60点以上を合格とする。
教科書	①宮坂忠夫、川田智恵子、吉田両亨編著、「最新保健学講座別巻1 健康教育論」最新版(メジカルフレンド社)、ISBN978-4-8392-2178-2、C3347 ②松本千明著「健康行動理論の基礎」最新版(医歯薬出版株式会社)、ISBN978-4-263-23337-5、C3047
参考書	出典：今日からできるミニマム禁煙医療 http://kieniryu.cocolog-nifty.com/blog 加濃正人 日本アルコール精神医学雑誌 2008;15:3-14
その他	各項目を説明後、健康教育の演習の時間を設けるので、積極的に参加する受講者を望む。

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R6.12.16	月	II	健康教育の理念、シナプソロジーの演習	講義・演習	教務部長		
				予習 教科書①、シナプソロジー研究所HPを読む				
				復習 講義の内容の復習				
2	R6.12.16	月	III	患者教育の考え方、がん患者理解の演習	講義・演習	教務部長		
				予習 教科書①の該当ページを読む				
				復習 講義の内容の復習				
3	R6.12.23	月	II	喫煙対策と禁煙指導、Prochaskaの行動変容の理論の演習	講義・演習	教務部長		
				予習 今日からできるミニマム禁煙医療のHPを読む				
				復習 講義の内容の復習				
4	R6.12.23	月	III	健康増進と健康教育、動機付け面接の演習	講義・演習	教務部長		
				予習 教科書①の該当ページを読む				
				復習 講義の内容の復習				
5	R7.1.6	月	II	21世紀における国民健康づくり運動について、ヘルス・ビリーフ・モデルの演習	講義・演習	教務部長		
				予習 教科書①、②の該当ページを読む。				
				復習 講義の内容の復習				
6	R7.1.6	月	III	高齢者保健対策・介護保険制度と健康教育、健康教育と保健行動、セルフ・エフィカシーの演習	講義・演習	教務部長		
				予習 教科書①、②の該当ページを読む。				
				復習 講義の内容の復習				
7	R7.1.20	月	II	健康教育の方法と媒体、ソーシャルサポートの演習	講義・演習	教務部長		
				予習 教科書①、②の該当ページを読む				
				復習 講義の内容の復習				
8	R7.1.27	月	II	コミュニティ・オーガニゼーションと自主グループ、ネットワーキングと健康教育	講義	教務部長		
				予習 教科書①の該当ページを読む				
				復習 講義の内容の復習				